

ネパール経済ニュース（18年2月）ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 11日、ガルチ（ヌワコット郡）・ラスワガディ（ラスワ郡）間の道路拡張工事の進捗を早めるため、ネパール政府が1日6時間、同区間を通行止めにする措置を取ってから半年が経過した。</p> <p>(2) 23日、アジア開発銀行関係者は、2017年のゴータム・ブッダ国際空港建設の進捗は10%であり、このペースでは同空港の完成にあと8年間かかる旨述べた。</p>
観光 貿易 投資	<p>(1) 12日、ネパール・中国商工会議所は、「一带一路の建設を促進するための協力強化」と題したセミナーを開催した。同セミナーでは、インド・中国間の架け橋としてのネパールの役割、ネパールが一带一路を最大限に活用すること等が話し合われた。</p> <p>(2) 19日、入国管理局によれば、2017年にラスワガディ国境ポイントからネパールに入国した外国人は、中国人17,620人、スウェーデン人23人、アメリカ人18人、デンマーク人17人であった。</p> <p>(3) 20日、産業局によると、2017/18年度当初7ヶ月における外国投資額（コミットメントベース）が、前年同期比141.7億ルピー（68%増）であった。</p> <p>(4) 25日、世界旅行ツーリズム協議会（本部：ロンドン）は、観光業による2017年度GDPへの寄与度が6.8%（910億ルピー）であったことを発表した。</p> <p>(5) 28日、ゴビンダ・バハドゥル・カルキ在チベット・ネパール総領事によると、シガツェ・ケルン間鉄道（全長540キロメートル）プロジェクトの準備が最終段階にあり、中国は、間もなく同プロジェクトの建設を開始すると述べた。2020年までにシガツェ・ケルン間の建設を行い、2022年までにカトマンズまで延長する計画である。昨年11月、中国政府関係者が建設予定地の地理的条件を調査したが、ケルンとカトマンズの標高差及び脆弱な地質が、同プロジェクトの最も大きな課題であるとしていた。</p>
雇用 労働 その他	<p>(1) 23日、ネパール政府は、ビクラム暦新年である本年4月14日から経済センサスを開始すると発表した。</p> <p>(2) 26日、KPオリ首相は、テクノクラートであるユバラズ・カティワダを財務大臣に任命した。</p> <p>(3) 26日、KPオリ首相は、マトリカ・ヤダブを産業・商業・供給大臣に任命した。同大臣は、強硬的な姿勢をとることで知られており、民間セクターからは「感心しない」との反応が見られている。</p>